

# さらなる研さん誓うつ

## 新潟アス合協50周年式典

新潟県アスファルト合材協「新潟市の新潟グランドホテル会（海野正美会長）は23日、」で設立50周年記念式典を開い



た。会員企業の代表者ら約100人が参加。今後も道路整備事業の重要性を認識しながら、技術の研さんに努めていくことで、業界の持続性を高めていくことを誓った。

海野会長は社会経済活動を下支える道路を整備する上で、「アスファルト合材は不可欠で、合材工場の役割は重要だ」と強調。喫緊の課題である担い手の確保・育成を推進するためにも、「合材工場の就労環境改善は不可欠かつ待ったなしの状況。会員の努力が業界の持続的発展につながっていく」と述べた。今後の展望として、「技術と信頼をより一層発展させ、新たな50年、100周年に向けて努力と進化を続ける」と意気込んだ。写真。

来賓として、遠藤仁彦北陸地方整備局長（代理）、花角英世新潟県知事、中原八一新潟市長、品田宏夫刈羽村長、今泉保彦日本アスファルト合材協会会長が祝辞を寄せた。

式典後の記念講演会では、事業創造大学院大学客員教授であり、フリーキャスターも務める伊藤聡子氏が「地域経済の活性化が、日本の元気を取り戻す鍵」と題して講演した。

